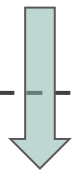


電動アシスト自転車とコガバス（コミバス）のシェアで快適な移動と生活を！

取組主体：古賀市／東武トップツアーズ(株)／新宮町

「公民連携による共創」を公共交通政策のキーワードに、電動自転車をママ同士でシェアリングする「電動アシスト自転車導入実証事業」、自治体の垣根を越えて市と町でバスをシェアリングする「コガバス小竹線運行」で交通課題をシェアの力で解決に導いた。引き続き、誰もが「乗って楽しい、降りて楽しい」公共交通をめざしていく。

課題 や現状



解決策や アイデア

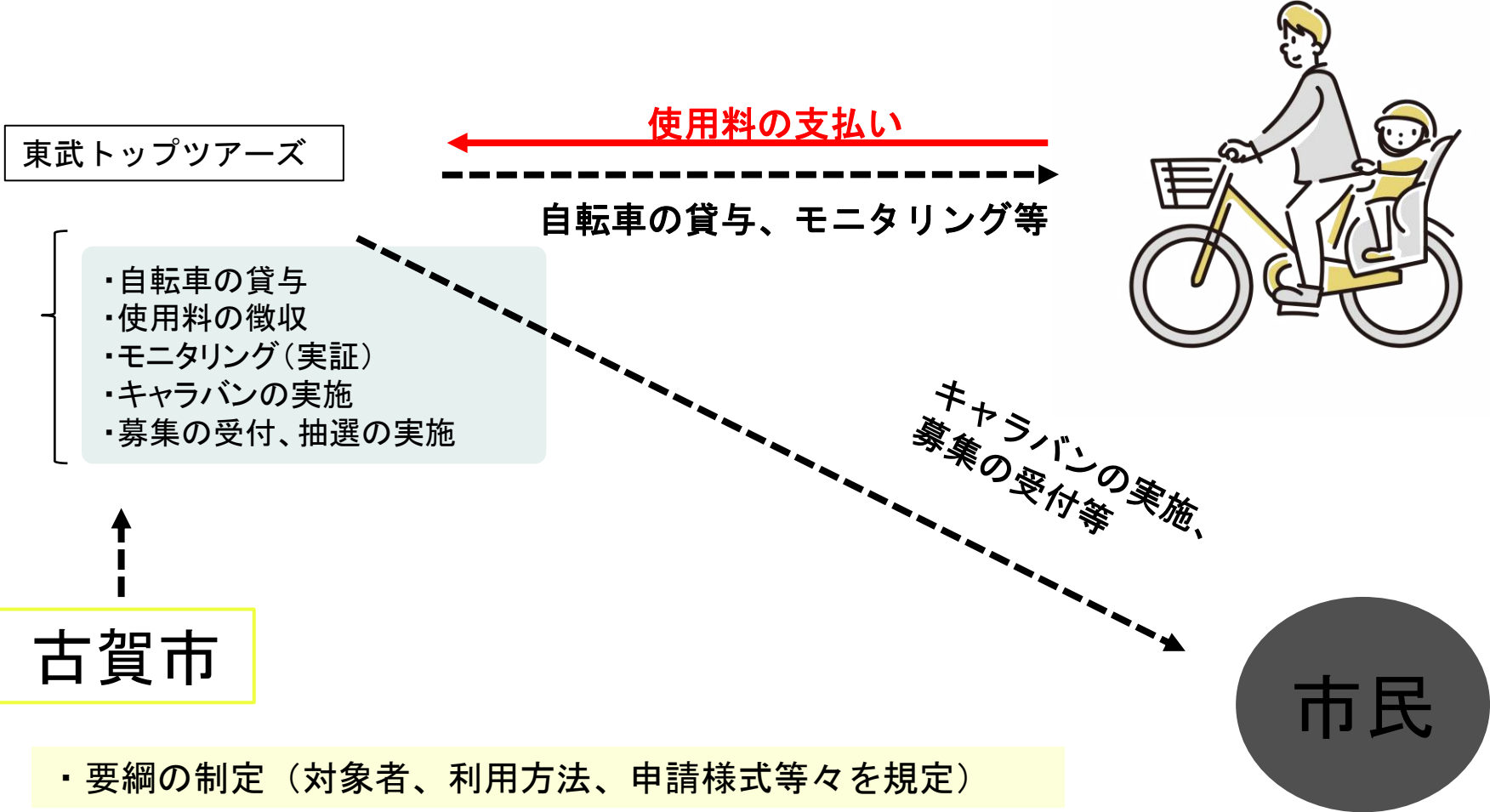


取組状況 や成果

- 子育て世代の重要な移動手段として活用可能な電動アシスト自転車は、個人で購入するには高額なうえ、子どもの成長も早いため利用できる期間は限定され、経済面や処分の難しさがあり負担が大きかった。
 - 市内の小竹地区には、高台の道の狭い道路が多く、大型の路線バスが近くまで来るものの、高齢者の多く住む場所にあったバス停は廃止され、自家用車での移動を余儀なくされていた。また、小竹地区は、隣の新宮町に隣接しており、古賀市内より生活圏が新宮町にある住民がほとんどであった。
-
- 電動アシスト自転車を5台調達し、子どもを連れての移動に困っている家庭に月単位でシェアする仕組みを創設。ショップでの説明やヘルメット着用の啓発も実施して、安全な利用につなげてもらう。
 - 小竹地区を中心に、古賀市の農産物直売所と隣町のJR新宮中央駅をつなぐコミュニティバス新規路線を開設。バスルートやバス停の設置箇所、ダイヤについて何度も話し合いを重ねて決定した。
-
- 電動自転車の台数よりもたくさんの応募があったが、シェアする月をやりくりすることで、応募者全員が利用できている。転出予定があり短期間のシェアで足りるママなど、うまく活用してもらった。
 - 新宮町のJR新宮中央駅とその付近の病院や商業施設、古賀市の直売所とそれぞれに不足しているものをバスでつなぐことで施設のシェアリングも可能となった。小竹地区での複数回の話し合いが、自分たちのバスを守るという意識を醸成し、持続可能な公共交通につながっている。

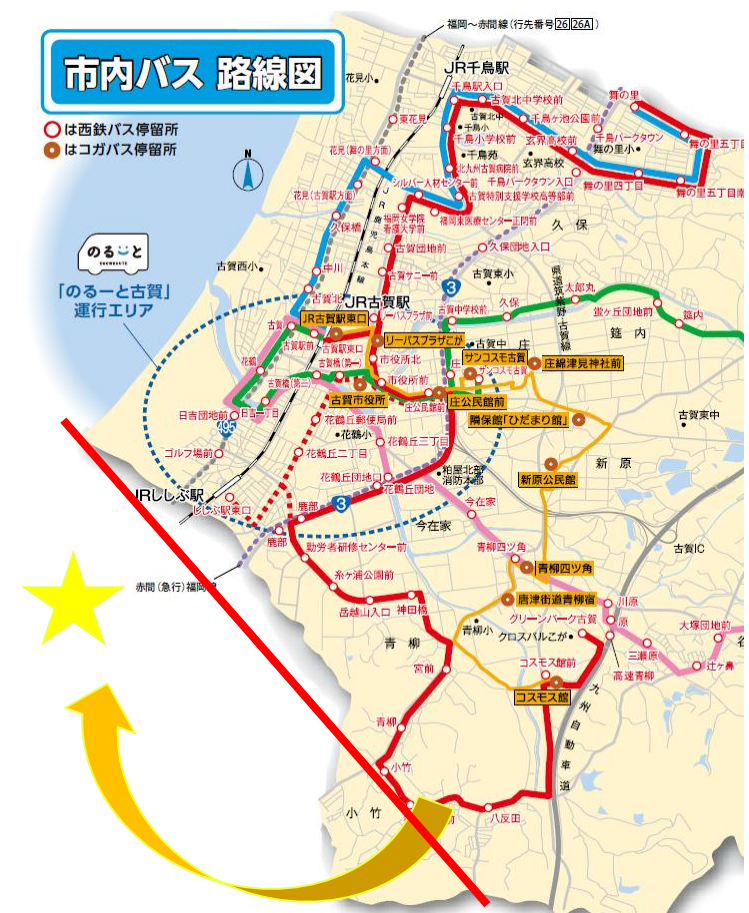
取組の詳細

子育てにかかる経済負担の軽減やゼロカーボン推進の啓蒙とともに、公共交通分野でのシェアリングサービスの可能性検証のため、電動アシスト自転車導入の実証実験を支援。



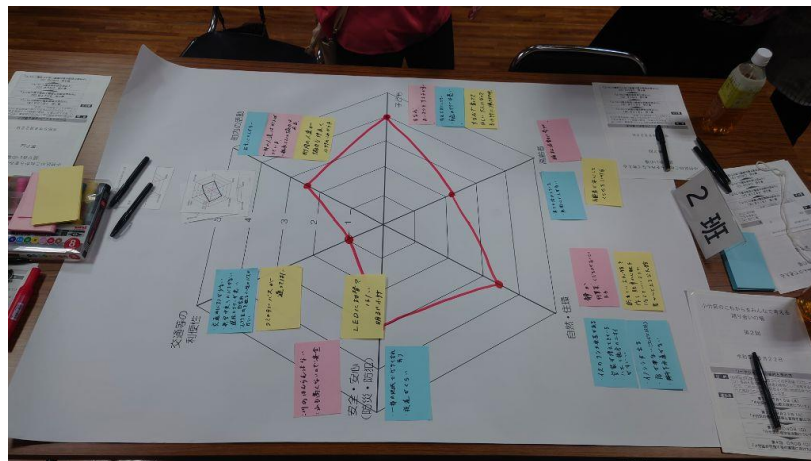
取組の詳細

古賀市の公共交通は手段も多く、市内の各地域をネットワーク的に接続していたが、市内で完結している路線であった。新宮町境である小竹の住民は生活圏域が新宮町であり、市内公共交通では移動ができなかったため、話し合いを重ね、自治体の境をこえたバスの運行を開始、互いにはない施設のシェアにもつながった。



持続可能な取り組みとするためのポイント

- コガバス運行に際し、小竹区での話し合いを重ねたことで、自分たちのバス、守らなければならないもの、という意識が醸成された。



付記（任意）